

プログラム (敬称略)

司会：筒井晴香 (東京大学UTCP)

I. 報告

岩下朋世 (相模女子大学)

「+0.5の世界と身体—マンガから見た2.5次元」

岩川ありさ (東京大学)

「サブカルチャーと歴史認識—「刀剣乱舞」をめぐるポリティクス」

石田美紀 (新潟大学)

「イケメンとイケボ」

II. コメント

上田麻由子 (上智大学)

III. トークセッション

岩下、岩川、石田、上田、筒井

明石陽介 (青土社)

イケメン × 2.5

境界、まなざし、在/不在

『ユリイカ』2014年9月臨時増刊号『総特集イケメン・スタディーズ』、同2015年4月臨時増刊号『総特集2.5次元—2次元から立ちあがる新たなエンターテインメント』の2冊を通して見えてくるのは、メディアムとしての「イケメン」を介してキャラクターを立ち上げさせる「2.5次元」という場の独特なありようである。「2.5次元」という場によって我々に開かれたものはなにが、そしてそこにおいてイケメンたちはどのような様態を示すのか。本ワークショップでは『イケメン・スタディーズ』『2.5次元』執筆者および編集者を招き、「イケメン×2.5」が拓くものへの問いをさらに深めていきたい。

会場：
東京大学駒場キャンパス18号館
コラボレーションルーム1

日程：
2015年11月8日(日)
14:00~17:00

主催：
東京大学大学院総合文化研究科附属
「共生のための国際哲学研究センター」
(UTCP)
上廣共生哲学寄付研究部門